

立科小学校で、信州プレミアム牛肉の授業を行いました。

12月10日（木）に、立科小学校（立科町）の6年1組で、信州プレミアム牛肉の生産者を招いた食育授業を行いました。

この授業は、新型コロナの影響により、需要が落ち込んだ県産ブランド食材の消費を促す「県産食材『食べて応援』地域内消費推進事業」の一環で行われ、立科町の畜産農家「西藤牧場」の西藤潤一さんをお招きしてお話を伺いました。

6年1組の児童23名が西藤さんからお話を聞き、畜産農家の仕事や、やりがい、大変なこと等を学びました。授業はパワーポイントを使いながら行われ、西藤牧場で実際に牛に与えているりんごの入ったエサを見たり触ったりしていました。児童たちは牛のエサを見るのは初めてだったようで、驚きの声があがっていました。牛が出荷されていく場面を撮影した動画を流した際は、真剣に画面を見ていました。また、西藤さんの説明を聞いて熱心にメモをとり、積極的に質問する熱心な姿も見られました。

立科小学校では、1月にプレミアム牛肉を使った給食が出される予定だということです。この授業をきっかけに、生き物や地域の農業への関心が高まることを期待します。



6年1組の児童たちと西藤さん

